

■ コミュニティバスのルート・ダイヤ改正前後の利用状況の変化

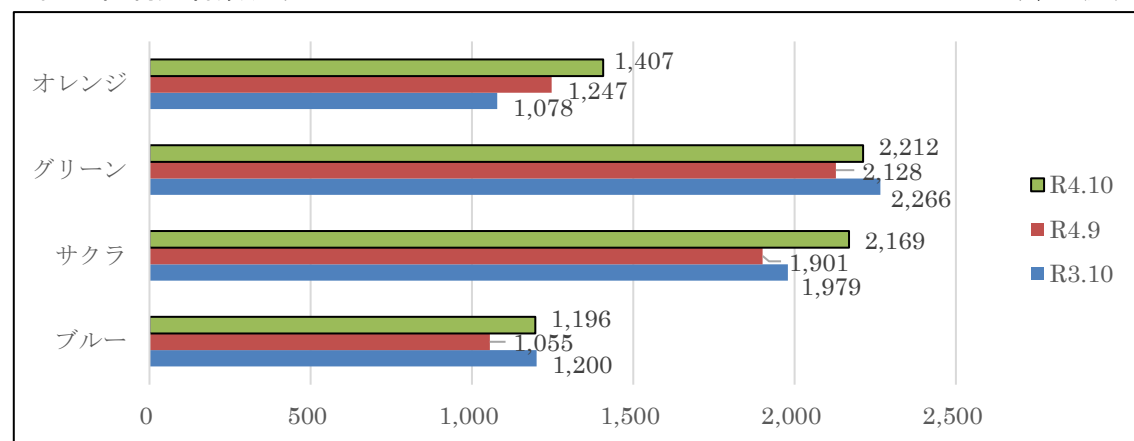
全体概要

1 総利用者数

表 総利用者数の比較

ルート	令和3年 10月	令和4年 9月	令和4年 10月	増減数(増減率)	
				単位(上段:人、下段:%)	
				対前年同月	対前月
オレンジ	1,078	1,247	1,407	329 (30.5)	160 (12.8)
グリーン	2,266	2,128	2,212	△54 (△2.4)	84 (6.6)
サクラ	1,979	1,901	2,169	190 (9.6)	268 (14.1)
ブルー	1,200	1,055	1,196	△4 (△0.3)	141 (13.4)
合計	6,523	6,331	6,984	461 (7.1)	653 (10.3)

図 総利用者数グラフ



今回のルート・ダイヤ改正では、大きく変更した点はなかったが、啓発活動等で市民・利用者の関心が高まっていたことや一日無料デーを3年ぶりに実施したこともあり、改正後はすべてのルートで前月を上回る結果となった。

個別にみると、サクラルートは新清洲駅北口や清洲総合福祉センターが経由するようになったため、他のルートより大きく増加した。

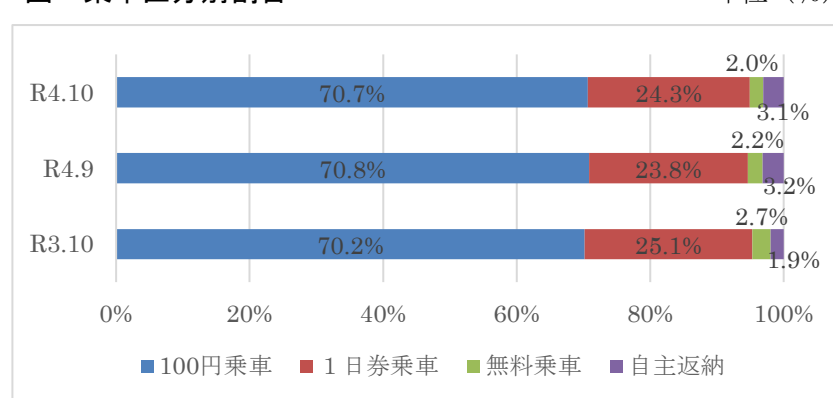
2 乗車区別の利用者の状況

表 乗車区別利用者数

区分	令和3年 10月	令和4年 9月	令和4年 10月	増減数(増減率)	
				単位(上段:人、下段:%)	
				対前年	対前月
100円乗車	4,578	4,485	4,637	59 (1.3)	152 (3.4)
1日券乗車	1,640	1,506	1,594	△46 (△2.8)	88 (5.9)
無料乗車	178	139	131	△47 (△26.4)	△8 (△5.8)
自主返納	127	201	201	74 (58.3)	0 (0)
1日無料デー	—	—	421		
合計	6,523	6,331	6,984	461 (7.1)	653 (10.3)

※ 1日無料デーは10月に開催される「清洲城信長まつり」にあわせて実施

図 乗車区別割合



100円乗車の利用者数は、対前年、対前月ともに増えており、改正を機に乗ってみようとする新規利用者が増加したとみられる。

なお、乗車区別割合を見ると、大規模な改正でなかったため、特に大きな変化は見られなかった。

変更があったバス停の利用状況

◎ 新清洲駅北口

単位(人)				
バス停名	ルート	令和4年9月	令和4年10月	増減数
新清洲駅北口	サクラ	—	124	

<参考>

フィール清須店北	サクラ	69	—	
新清洲駅南口	グリーン	133	124	△9

◎ 清洲総合福祉センター

単位(人)				
バス停名	ルート	令和4年9月	令和4年10月	増減数
清洲総合福祉センター	サクラ	—	23	
	ブルー※	24	29	5
	合計	24	52	28

※令和4年10月は、往路のみの実績

◎ 清洲城・清洲市民センター

単位(人)				
バス停名	ルート	令和4年9月	令和4年10月	増減数
清洲城・清洲市民センター※	オレンジ	21	109	88
清洲市民センター	オレンジ	39	—	△39

※令和4年9月は、「清洲城」バス停

◎ 清洲駅

単位(人)				
バス停名	ルート	令和4年9月	令和4年10月	増減数
清洲駅	ブルー10便	12	11	△1
	ブルー11便	4	5	1
	夕方便合計	16	16	0

※乗車ベースの実績